

あぜ道書店

売れ筋情報

●日販(総合)

- ① 拉致と決断 蓮池薫 (新潮社)
 - ② 禁断の魔術 東野圭吾 (文藝春秋)
 - ③ NARUTO—ナルト—迅雷伝 岸本斉史、東山彰良 (集英社)
 - ④ 64 (ロクヨン) 横山秀夫 (文藝春秋)
 - ⑤ 世界のなめこ図鑑 通常版 金谷泉 (エンターブレイン発行、角川グループパブリッシング発売)
 - ⑥ 置かれた場所で咲きなさい 渡辺和子 (幻冬舎)
 - ⑦ 人生がときめく片づけの魔法(2) 近藤麻理恵 (サンマーク出版)
 - ⑧ 母性 湊かなえ (新潮社)
 - ⑨ 聞く力 阿川佐和子 (文藝春秋)
 - ⑩ 陰陽師 醉月ノ巻 夢枕獯 (文藝春秋)
- (11月7日調べ)

スローライフはいかが? 池ヶ谷典子・著

都市部の千葉原柏市から太平洋に面したいすみ市に移住し、スローライフを実践する著者が、足で調べた地域の案内書。いすみ市への移住についての記事に続き、市内探訪が始まる。江戸時代の名工で「波の伊八」と呼ばれた武志伊八郎信由が



職を持った人がいても、上で相談をするのだ。全ての問題を解決して、都市農家に絞った内容は、なごらぶが勉強し、どなたでも自分の資産を計算し、どなたでも自分の資産を知ることが出来る。7章35項目を正確に理解すれば、何をしなければならぬかが分かる。都市農家の多くが事例に聞かされてきただけに、「争族」を防ぐための遺言書の書き方、生前贈与の手法なども書かれている。(あさ出版、1,075円)

◆いまからできる放射線対策ハンドブック(香川靖雄、菊地透・著)放射線の害を避ける生活と食事の知恵を2人の「知り抜いた」研究者が紹介する。遺伝子を修復する機能や、セシウムが体内に入っても、野菜、果実を食べカリウムが増加すれば体内から除去されるなど、これからの対策を紹介している。(女子栄養大学出版部、1,155円)

残した、寺社の建築彫刻を訪ねながら、その人となりを知る。初代伊八は26歳で17歳の弟子を持ち、4代目はフーテンの寅さんで有名な東京の柴又帝釈天に代表的な彫刻を残している。林扶美子の小説「放浪にさせてくれる。あなたが住んでいる町にも、歴史があり、見どころがある」と教えられる。マルモ出版、1,600円

◆東京線のハンドブック 東京都心にこれだけの緑化スペースがあったのかと再認識する。114の民間施設・ビルの屋上、公共空間に造られた「超人工的な庭」を紹介する。「全国都市緑化フェア TOKYO」に合わせ出版社が発行した。写真と短い説明文書を見ながら歩くのも楽しい。(マルモ出版、1,600円)

農業の新人革命



和泉真理、横田茂永・著

出身で新たな品目の生産を始め、流通ルートを確立する石川県の20代男性。登場する全国の新人は誰もが「これぞ一番の生きる源」「何十年後も地域にとってかけがえのない存在でありたい」と、農業はやりがいのある仕事と口をそろえる。本書の取材は東日本大震災前後で、人と人とのつながりや自然への畏敬を再確認する時期に当たった。震災は人生観を根底から覆し、価値観を転換させた。その中で農業へ目がいく新人予備軍が増えているのは、と農業への関心の高まりを期待している。

ただ、新規就農の壁はやはり厚い。農地の確保や機械の有効活用など、新人が活躍できるような環境の整備が必須だと訴えている。(農文協、2,730円)

◆いまからできる放射線対策ハンドブック(香川靖雄、菊地透・著)放射線の害を避ける生活と食事の知恵を2人の「知り抜いた」研究者が紹介する。遺伝子を修復する機能や、セシウムが体内に入っても、野菜、果実を食べカリウムが増加すれば体内から除去されるなど、これからの対策を紹介している。(女子栄養大学出版部、1,155円)

農業の新人革命

和泉真理、横田茂永・著

◆いまからできる放射線対策ハンドブック(香川靖雄、菊地透・著)放射線の害を避ける生活と食事の知恵を2人の「知り抜いた」研究者が紹介する。遺伝子を修復する機能や、セシウムが体内に入っても、野菜、果実を食べカリウムが増加すれば体内から除去されるなど、これからの対策を紹介している。(女子栄養大学出版部、1,155円)

農業

本書は単なる農業サクセスストーリーではない。政治、経済など幅広い分野で執筆活動が続けてきた著者の取材力で、農業が抱える難問を明らかにし、ビジネス界の問題、グローバル化の課題を問いつける。著者が農業取材に足を踏み入れるきっかけは、「鴨

フリージャーナリスト 川瀬美加

変革の力

生産現場、加工、販売と多様なビジネスチャンスがあるのも農業の強みだ。「今は子育てに追われていた妻に、いすれ自分の好きな分野でのびのび働いてほしい」という川原伸章(35)の言葉に代表されるように、本書の若きサムライは、夫婦単位で農業ビジネスを捉えているのが印象的。農業革命を通じ、時代を変える力を感じさせる。

虫と文明



かつては多くの観客を集めた「ミのサーカス」娯楽性の強いコロロキのけん話から筆を起し、シルクも触れ、文明と虫がいつか結ぶついでに、虫好きのこころを取り上げる。そして、虫好きには楽しく、そうでない読者には文明について考える新たな視点を提供している。生物の多様性を知る上でも興味深い内容だ。(築地書館・2,500円)



◆いまからできる放射線対策ハンドブック(香川靖雄、菊地透・著)放射線の害を避ける生活と食事の知恵を2人の「知り抜いた」研究者が紹介する。遺伝子を修復する機能や、セシウムが体内に入っても、野菜、果実を食べカリウムが増加すれば体内から除去されるなど、これからの対策を紹介している。(女子栄養大学出版部、1,155円)